

# 2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GI11	科名	シューズデザイン科1年	単位	1 単位
科目コード	301800	科目名	靴人間工学	授業期間	後期

担当教員(代表) : 田島智司	共同担当者 :
-----------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】  
足と靴の良い関係を模索するための科目で足からのアプローチを主として講義を進め理解を深める。

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
ヒトの身体のかたち 四肢の形状を理解する	講義	1
足の基本構造1 骨格配列を理解する	講義	1
足の基本構造2 筋肉、腱、靭帯を理解する	講義	1
足の基本構造3 足のアーチ構造を理解する	講義	1
足の基本構造4 成長と老化を理解する	講義	1
ヒトの歩行 あおり歩行を理解する	講義・実習	1
自分の足の観察1 正確なサイズを知る	講義・実習	1
自分の足の観察2 アーチの高さを知る	講義・実習	1
自分の足の観察3 日本人平均と自身のサイズを比較する	講義・実習	1
足の生理 ミルキングアクションを理解する	講義	1
足の病気と障害1 前足部の変形障害を理解する	講義	1
足の病気と障害2 皮膚、爪の障害を理解する	講義	1
足の病気と障害 股関節、膝関節の障害を理解する	講義	1

【評価方法】  
学業評価 80% ・ 授業姿勢 20%

授業の特徴と担当教員紹介  
企業において、靴のデザイン、設計、企画、開発、国内外の紳士靴・婦人靴の生産、靴型設計を担当した業務経験をもとに、多面性を持つ靴と体の関係を「足、運動そして靴」から考察することにより、靴に対する理解度と関心を深める授業を実施

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	自主作製

記載者氏名 田島智司

# 2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GI2	科名	シューズデザイン科（2年）	単位	1単位
科目コード	301950	科目名	ラストメイキング	授業期間	前期

担当教員(代表)：	伊藤 博通	共同担当者：	
-----------	-------	--------	--

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

足型計測に基づくオリジナルラストマスターモデルを製作することで、造形の感性と表現力を磨くと共に、靴のスタイル、製法による形状の違い、フィッティングに及ぼす影響、等の、ラストの重要性を学ぶ。

## 【授業計画】

◎テーマ「靴型とは？」	講義	1コマ
◎ラストモデル作製		
・オリジナル靴のデザイン画制作	実習	1コマ
・オリジナルデザインからベースラスト判定	演習	1コマ
・マスターモデル用底ゲージ作製	実習	1コマ
・マスターモデル作製	実習	10コマ
(課題進捗状況によっては、仮靴製作の上、評価実施⇒マスターモデル調整実習)		
※後期別科目の課題では、製作したマスターモデルを使用し、オリジナルデザイン展示サンプル靴を作製する。		

## 【評価方法】

- ◎<S～C・F>の5段階評価（モデルとしての完成度、出来栄え、等の評価）
- ・S…意図とする形状が判断でき、仕上りも良好で、仮靴等で自己評価を実施後、マスターモデルの再調整を行い、期末日までに課題を提出した
  - ・A…意図とする形状が判断でき、仕上りも良好で、仮靴等で自己評価を実施後、期末日までに課題を提出した
  - ・B…意図とする形状が判断でき、仕上りも良好で、期末日までに課題を提出した
  - ・C…意図とする形状が判断できる出来栄えで、期末日までに課題を提出した
  - ・F…期末日までに課題提出しなかった
- ◎評価基準 学業（課題）評価 **40%** / 授業姿勢 **60%**

主要教材図書	無し
参考図書	無し
その他資料	オリジナル（作成）資料

## 授業の特徴と担当教員紹介

靴作りに必要な靴型、そのマスターモデルの作製は非常に難しい授業課題です。業界で30年以上の経験を持つ講師が、生徒一人一人に合わせた指導を行い、他科目と連携を取って、卒業までに、学生自身がオリジナルデザイン靴を作ります。

記載者氏名 伊藤 博通

# 2022年度 カリキュラム科目概

文化服装学院教務部

科コード	G11	科名	シューズデザイン科1年	単位	2単位
科目コード	305000	科目名	ハンディクラフト	授業期間	通年

担当教員(代表) : 白戸 薫	共同担当者 :
-----------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)  
 各種のクラフトテクニックを、エンブroidアリーと布の加工に大別し、基礎的なテクニックを幅広く学習する。  
 特に、帽子・バッグ・シューズ・アクセサリー等のグッズ制作に、応用することをイメージしながら実習させる。  
 併せて、学習したテクニックが使われている実際の商品などの資料を集め、ブックの形式で完成させる。  
 それにより、テクニックだけにとらわれない応用性を身につけさせる。

授業計画=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、  
 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- \*エンブroidアリー
  - ・カラーエンブroidアリー 刺しゅうの中で、代表的な色系刺しゅうの基本的なステッチの実習(3)
  - ・ステッチの応用 ボリュームのあるステッチの実習 より多種多様なステッチの習得(1)
  - ・キャンバスワーク 基本的なステッチを用いながら、織り糸を数えて刺すテクニックの実習(2)
  - ・コードエンブroidアリー 紐状のものを布に止め付けていくテクニックの実習(1)
  - ・ビーズ/スパングルエンブroidアリー 服飾素材の扱い方の基本テクニックの実習(1)
  - ・ミラーワーク ミラーの止め付け方のテクニックの実習(1)
  - ・ビーズ/スパングルエンブroidアリーの応用 オリジナルの図案をデザインしモチーフを制作(1)
- \*布の加工
  - ・アップリケ 布を切り貼りするテクニックの実習(1)
  - ・ファンシーブリーツ 布を折りたたみ装飾を施すテクニックの実習(1)
  - ・スモッキング ベーシックスモッキングのうち柄布(ギンガム)を使ったテクニックの実習(1)
  - ・カットワーク 布にステッチをして切り抜き、透かし模様を表現するテクニックの実習(1)
  - ・フリル/ギャザー/ヨーヨー ファブリック マニピュレイティング(布加工)の代表的なテクニックの実習(1)
  - ・ドロンワーク 糸抜きした部分にかがりを入れ、透かし模様を表現するテクニックの実習(2)
  - ・リボンワーク 幅広いテープ状のものを装飾的に加工するテクニックの実習(1)
  - ・ラティススモッキング 布を裏面からつまむことによる陰影の表現のテクニックの実習(2)
  - ・イタリアンスモッキングレリーフライクな布の表現のテクニックの実習(1)
  - ・キルティング 布を部分的にふくらませて、レリーフ状に加工するテクニックの実習(2)  
 イタリアンキルティング/イングリッシュキルティング
- \*レース
  - ・マクラメ 紐やコードを手で結んで模様を表現するテクニックの実習(2)
- \*ブックの制作 学習した技法の総括として、資料と共に構成する(1)

評価方法・対象・比重  
 制作物の評価にブックの採点をプラス

主要教材図書	文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑧ 手芸
参考図書	
その他資料	各種技法サンプル 講師作成プリント類

授業の特徴と担当教員紹介  
 ニット企業でのニットデザイナーを経て、フリーでハンディクラフトを生かした作品制作(キッズニット・編みぐるみ・バッグ・ニット帽など小物からインテリアグッズまで)・雑誌等の活動経験をもとに指導。クラフトテクニックをエンブroidアリーと布の加工に大別し、基礎的なテクニックを幅広く習得する。帽子・バッグ・シューズ・アクセサリー等のグッズ制作に応用することをイメージしながら実習する授業を実施

記載者氏名 白戸 薫

# 2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14402	科名	シューズデザイン科2年	単位	2単位
科目コード	600900	科目名	ファッションマーケティング	授業期間	( 通年 )

担当教員(代表) : 勝又 淳司	共同担当者 :
------------------	---------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・マーケティングの基本を学び、市場の細分化とその特徴を理解する。
- ・マーケティングのプロセスにそって、市場に適合したブランド設計を行い、目的を実現させるための戦略について学ぶ。

## 【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

<通年 : 26コマ>

1. オリエンテーション・PEST分析 : 世の中の流れを感じよう (講義・演習×1コマ)
2. ファッションビジネスの変遷・現況 (講義・演習×1コマ)
3. ファッションビジネスの産業構造と職種 (講義・演習×1コマ)
4. マーケティングとは (講義・演習×1コマ)
  - ・マーケットとは・マーケティングとは/企業の戦略
  - ・4Pと4Cの考え方
4. マーケティングのプロセス (講義・演習×3コマ)
  - ・STPマーケティングとは T:ターゲットとライフスタイル
  - ・ライフスタイルMAPを作成
  - ・プレゼン 発表
5. マーケティングリサーチ (講義・演習×2コマ)
  - ・リサーチの基本とヒアリングリサーチの実施
  - ・"お買い物リサーチ(購買行動)"と"愛用品"の動機調査
  - ・ヒアリングリサーチのまとめとプレゼン
6. ブランド(ショップ)リサーチ (実習・プレゼン×5コマ)
  - ・ブランドショップ/WEBサイト調査/企業の売上/ブランドのターゲット・中心アイテム
  - ・P:ポジショニングについて説明・実習
  - ・リサーチのまとめ
  - ・プレゼン 発表
8. ブランド設立 課題・企画書構成説明 (講義・実習×1コマ)
  - ・PEST分析/マーケティングからのブランド設計
9. ブランド企画のステップ (講義・実習×2コマ)
  - ・目標の抽出
  - ・ブランドコンセプトとターゲット設定
10. 企画書作成 (点検・実習×6コマ)
  - ・PEST分析 : 社会全体の状況 → ブランド概要の設定
  - ・ターゲットライフスタイル分析
  - ・ポジショニングマップの作成
  - ・メインアイテムとメインデザインの設定
  - ・チャンネル設定とプロモーション
  - ・計数計画 : 概要説明
11. プレゼンテーション (発表×2コマ)
12. フィードバック 総評 復習(1コマ)

## 【評価方法】

- ・S~C・F評価
- ・評価基準 : 出席20% 学業評価 60%、授業姿勢 20%

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	配布プリント

## 授業の特徴と担当教員紹介

- ・マーケティングの基本を理解し、市場に適合したブランド設計を通して、目的の実現に向けた戦略を学ぶ。
- ・2006年 文化服装学院ビジネス専攻卒。東証一部上場の国内スポーツアパレルメーカーにて、MD, 営業を中心に14年間勤務後、文化服学院の教員に。実務経験と理論の融合を目指します。

記載者氏名 勝又 淳司